

人々きらめくまちづくり

市民参画と幅広い交流、行財政の健全化を目指して



平成17年に四市町村が合併し、新しい大洲市が誕生しました。以来、これまで以上に市民間の交流を活発に行うことで気持ちを通い合わせ、それぞれの地域の特性を活かした、個性的なまちづくりに取り組んできました。そして、より市民が自立した活力あるまちづくりのために、行政情報やまちづくりの情報提供を充実させ、市民の政策形成への参画機会を拡大。市民と行政が協働するまちづくり活動を積極的に推進しています。

また平成17年の大洲市男女共同参画推進条例制定、平成18年の大洲市男女共同参画推進計画策定を受けて、男女共同参画社会の実現のために各種広報を活用した啓発活動や「おおよ女性塾」を開催。性別に関わりなく、個性や能力が十分に発揮できる環境づくりを目指しています。

すべての市民の人権が尊重された社会のために、家庭や学校、地域社会、職場などあらゆる場において人権教育・人権啓発活動を推進。相談体制の充実に注力します。また心身の

大洲の「コ」が大好き! We love Ozu City

ともにまちを盛り上げよう!
そんな仲間たちに恵まれました

ポコベン横丁仕掛人
(左から) 大谷光さん・広見元司さん

昭和30年代をイメージした駄菓子屋や骨董店を出店するポコベン横丁は、市民発のイベント。こういう試みを面白がって、盛り上げてくれる仲間が存在が原動力になっています。

健全な発達や健康の維持・増進に役立ち、人々に夢や希望、感動を与えるスポーツに着目。プロスポーツ活動に対する支援や国民体育大会の誘致などで、まちに明るさと活力を生み出していきます。そして地域間交流や国際交流の充実を図り、地域の活性化につなげます。また行財政の健全化にも全力で取り組みます。

4市町村が一つになって新しい大洲市が誕生し
これまで以上に市民間の交流と連携が必要になってきます。
あらゆる世代の人々の充実した日々を支援します。

City planning that highlights people
Pursuing resident participation, broad interaction, and healthy administrative and financial governance

With four cities, towns, and villages coming together to form the new city of Ozu, there is greater need for interaction and partnership among residents than ever before. The city is committed to helping residents of all ages enjoy fulfilling lives.

行政と議会

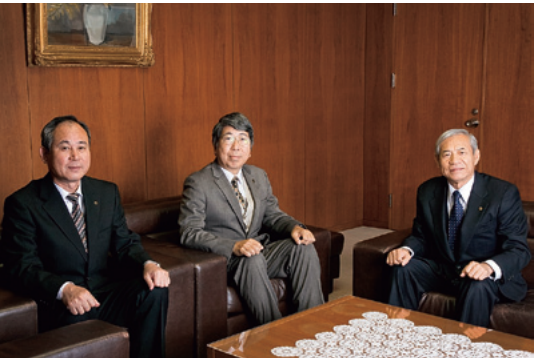
Government and City Assembly



大洲市のまちづくりには、「若者の定住と活躍」「未来を担う人づくり」「活気ある産業」「健康と支え合い」「豊かな自然と安全」「市民が元気」「自治・自立」という7つの課題があります。またその課題を受けて、「人きらめくまちづくり」「知行創造のまちづくり」「協働のまちづくり」という具体的な目標を掲げました。この基本理念を受けて、「きらめき創造 大洲市」みとめあい ささえあう 脛

川流域都市」という大洲市の将来像を描き、市民と行政が力を合わせて、市民一人ひとりが美しくきらめく自然環境の中で支え合いながら暮らし、創造的に働き、心豊かな生活を実現できるまちづくりを進めています。

また具体的なシンボルプロジェクトとして「脛川共生プロジェクト」「子ども未来プロジェクト」「文化創造プロジェクト」「健康・安心の福祉プロジェクト」「活気創造プロジェクト」「地域の力



中央：清水 裕 市長 左：小島健市 副市長 右：叶本 正 教育長

創造プロジェクトを進めています。こうした諸改革とともに、多様化・高度化する市民の要望に即応したより効率的で効果的な行政の実現のために、市民と行政が手を携えた行政運営の実現を目指しています。

議会では議員一人ひとりが常に問題意識を持ち、大洲市の未来を展望した揺るぎのない取り組みを市民と共に考え、共に歩みながら実践。議会の内部組織である総務企画委員会、厚生文教委員会、産業建設委員会を活用し、市民の声を反映させた慎重な審議を通じて、よりよいまちづくりを実現させていく考えです。

